

2012 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	土橋 茂樹		
NAME	Shigeki Tsuchihashi		

1. 研究課題

(和文) 後期古代におけるギリシア哲学と教父思想の比較研究

(英文) Comparative Studies of Greek Philosophy and Patristic Thought in the Late Antiquity

2. 研究期間

1 年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

ヘレニズム期の古代ギリシア哲学は、プラトンの流れを汲む中期プラトン主義、あるいはプロテイノスから始まる新プラトン主義、アリストテレスの流れを汲むペリパトス派、さらにストア派、エピクロス派などが相互批判を繰り返しながら、論理学、自然学、倫理学、形而上学など幾多の分野で学的な精度を高めていった。他方、紀元 2 世紀から 4 世紀にかけて、キリスト教の勃興期において教義確立に奔走したオリゲネスらのアレクサンドレイア教父やカッパドキア教父たち (すなわちバシレイオス、ナジアンゾスのグレゴリオス、そしてニュッサのグレゴリオス) は、そうしたギリシア哲学の概念枠を、信仰をロゴス化するために大いに受容/変容していった。

本研究においては、そうした両思想圏が葛藤をはらみつつダイナミックに融合していく過程の様相を調査研究することを目的とした。具体的には、プラトン『国家』篇における「洞窟の比喩」が、教父思想圏に入って被った変容の具体的な位相を、政治思想における両者の「自由」概念の比較、さらには社会的弱者の政治的救済と信仰による救済の比較を通して探究していった。その成果は、2012 年 8 月にオクスフォード大学で開催された日英共同シンポジウム (Freedom and the State : Plato and the Classical Tradition) において、Descent of the Sun into the Cave: the historical influence of the "cave simile" on patristic thought という題目で発表された。

(英文)

The purpose of this study is to clarify the influence of Plato's 'cave simile' and its transformation in the period from Aristotle through the Hellenistic era to the Greek Church Fathers. The essential point of this study is to show how the contrast between the obscure cave under the ground and the sun ruling the dazzling world above the ground has been reinterpreted in the context of the incarnation of Jesus Christ.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>土橋茂樹、Descent of the Sun into the Cave: the historical influence of the "cave simile" on patristic thought</p> <p>『紀要・哲学』（中央大学文学部、2014年掲載予定）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>1. 土橋茂樹、Descent of the Sun into the Cave: the historical influence of the "cave simile" on patristic thought</p> <p>Symposium: Freedom and the State: Plato and the Classical Tradition, Corpus Christi College, Oxford, 6-7 Aug. 2012.</p> <p>2. 土橋茂樹、Pseudo-Macarius' Homilies in the Philokalia</p> <p>7th Asia-Pacific Early Christian Studies Society, Presbyterian College, Seoul, Korea, 5-7 Jul. 2012,</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>